

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

皆様方には日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
皆様方の声をお届けしようと、議会活動を通じて
市政への様々な角度からの提言を行ってまいりま
した。

議員の役割は何と言っても市民生活の向上、福
祉の増進を実現するために、議会活動を通じて、
様々な提言を行っていくことにあります。

皆様のご支援のおかげをもちまして3期目任期
最終年を迎えることができました。

9月定例会で一年ぶりに代表質問に登壇しました。政策力こそが議員に最も必要と
されることを改めて感じているところです。

開府500年、中核市移行が来年に迫り、甲府市にとっても次の時代への基盤をし
っかり築く必要があります。そのための多岐にわたる提言を行いました。



1 これまでの市政運営の評価と次への決意について

<質問内容と答弁要旨>

○任期最終年にあたりこれまでの市政運営の自己評価と再選出馬の決意につ
いて質問

← 子ども最優先のまちやくらし潤うまちを目指した取り組みにより、甲府
に元気が少しずつ呼び戻されてきた。開府500年を契機にふるさと甲
府への更なる愛着と誇りを高めるため、様々な議論しながら引き続き市政
を担っていく

<質問の視点>

○我々議会と首長の「善政競争」が2元代表制のキーワード。甲府市議会で言
及したのはおそらく初めて。

2 殺処分ゼロに向けた動物愛護の取り組みについて

<質問内容と答弁要旨>

○中核市移行、保健所設置を契機に動物の殺処分ゼロを宣言したうえで具体的
な取り組みをすべき。

← 飼い主等に対する指導とともに、愛護団体やボランティア等と連携し、動
物愛護に対する市民意識の醸成や譲渡を増やす仕組みづくりに取り組む

<今後の課題>

仕組みづくりを見守るとともに、殺処分ゼロ宣言まで引き続き取り組む

3 甲府市子ども未来プランについて

<質問内容と答弁要旨>

これまで子どもを「主役」にした取り組みの拡充を訴えてきた結果、子ども未来プランが策定されたがどう施策展開するか？

←「子育て」の観点から「子どもが地域で育つ拠点づくり」「子どもがすこやかに成長できる体制づくり」「子どもが未来を築く機会づくり」という3つの柱で自分自身が思い描いた未来を築いていけるよう全力で応援していく。

4 国際交流の取り組みについて

<質問内容と答弁要旨>

ライフステージに応じた地方創生の一層の充実の観点から、地方における外国人材の活用が打ち出されたが、この観点からの国際交流への対応は？

←国際感覚豊かな若者の育成を図るとともに、海外への積極的な発信による海外活力の取り込みを図る。さらに、甲府で学ぶ外国人留学生の活躍の場を広げる施策を展開していく。

5 女性活躍社会の構築について

<質問内容と答弁要旨>

今後の女性活躍社会の構築に向けた取り組みは？

←女性の多様な生き方や働き方への支援等の課題が見えてきたことにより、その解決のため、日本女性会議の誘致、セミナー実施とともに、「女性のための特設サイト」を今年度構築する。

6 アプリを活用した市税等の納付について

<質問内容と答弁要旨>

スマートフォン時代に対応した、アプリを活用した市税等の納付方法の導入について伺う

←現在防災アプリ、ゴミ分別アプリ等を導入しているが、10月1日からはアプリを活用した市税等の納付をスタートさせる。またクレジットカード納付も現在準備を進めており、来年4月スタートを目指している。

7 高齢者の肺炎球菌予防接種について

<質問内容と答弁要旨>

65歳以上の高齢者に生涯1回は肺炎球菌感染症の予防接種の機会を与える国の経過措置が本年度で終了するが、これまでの接種の状況、及び、市民周知の強化と来年度以降の任意接種費用をどうするか？

←これまでの4年間で高齢者の24%が接種済み。今後かかりつけ医氏からの直接の勧奨等を行い接種率向上を図る。
市独自の任意接種制度は国の動向を見極めて方向性を決定していく。

8 洪水を想定した避難行動のあり方について

<質問内容と答弁要旨>

洪水の際、避難所での垂直避難を可能にするため学校の校舎が開放されるが、地域に対してどう周知徹底しているか、また、緊急事態の際、いかに迅速に住民の避難行動に結び付けていくか？

←平成28年度から校舎上層階への垂直避難を可能にし、各学校には徹底している。地域へは自治会ごとの防災研修会の際自宅の2階以上への避難と併せて説明するとともに、防災アプリやホームページ等で周知、また自治連との連携も強化して万全を期する。

避難情報の確実な伝達とともに、緊急時に先頭にたって避難を呼びかける人材の育成も行っていく。

9 一人暮らしの高齢者の見守り体制について

<質問内容と答弁要旨>

地域包括ケアシステムの中核である「互助」の最も典型的な場面である一人暮らしの高齢者の見守り体制については？

← 現在、配食サービスの見守り、社協の小地域ネットワーク事業とともに、民間事業者との協定により見守りの目を増やす取り組みを実施。また本年4月から、ふれあいペナント設置の高齢者については、委託先の看護師による月一回の電話による安否確認を実施している。

今後こうした連携をさらに強化し、地域全体で見守っていく仕組みや体制づくりを充実させていく。

10 奨学金返還の一部助成について

<質問内容と答弁要旨>

これまで若者を市内に呼び戻す方途として市内企業へ就職した場合の奨学金返還免除を提言してきたところ、今般甲府市総合戦略の改訂により、市内居住の場合の奨学金返済額の一部助成制度の創設を打ち出したが、制度の概要、今後の予定について伺う。

← 現在、市内居住者をベースに、市内企業への就職者、起業者などへの加算を検討している。

また、国も同様の制度を検討していることから、その動向も見ながら、助成期間、助成額を検討していく。

